

感染症定期報告の報告状況(2006/9/1~2006/12/31)

資料No.4-1

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
1	2006/09/01	60383	川崎三鷹製薬	胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			
2	2006/09/01	60384	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン	初代腎臓培養細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
3	2006/09/01	60385	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	ラクトアルブミン	ウシ乳	米国、ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
4	2006/09/01	60386	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	血清	ウシ血液	米国、ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
5	2006/09/01	60387	化学及血清療法研究所	①乾燥細胞培養痘そうワクチン ②乾燥弱毒生風しんワクチン ③乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン ④組織培養不活化狂犬病ワクチン	筋アデニル酸	ウマ肉	米国	①~③製造工程・添加物 ④製造工程	無	無	無			
6	2006/09/01	60388	化学及血清療法研究所	①乾燥細胞培養痘そうワクチン ②沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ③沈降破傷風トキソイド ④ジフテリア破傷風混合トキソイド ⑤ジフテリアトキソイド ⑥コレラワクチン ⑦乾燥ジフテリアウマ抗毒素 ⑧乾燥ボツリヌスウマ抗毒素 ⑨沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ⑩破傷風トキソイド	ペプトン	ブタ胃	米国、日本	①添加物 ②~⑩製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
7	2006/09/01	60389	化学及血清療法研究所	①乾燥細胞培養痘そうワクチン ②乾燥弱毒生風しんワクチン ③乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン ④組織培養不活化狂犬病ワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーランド、オーストラリア	①～③製造工程・添加物 ④製造工程	無	無	無			
8	2006/09/01	60391	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	ラクトビオン酸 エリスロマイシン	ウシ乳	米国、カナダ、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
9	2006/09/04	60392	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド 沈降破傷風トキソイド	ウシ肉エキス	ウシ肉、骨、脂肪	日本、ブラジル、インド、米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
10	2006/09/04	60393	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド コレラワクチン 沈降破傷風トキソイド	スキムミルク	ウシ乳	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
11	2006/09/04	60394	阪大微生物病研究会	百日せきワクチン 破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド	ポリペプトン	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
12	2006/09/04	60395	阪大微生物病研究会	インフルエンザワクチン インフルエンザHAワクチン	尿膜腔液	発育鶏卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	J Gen Virol 2006; 87: 1823-1833	中国Qinghai湖で2005年5月から7月に高病原性H5N1トリインフルエンザウイルスのアウトブレイクにより、何千もの野生の渡り水鳥が死亡した。この時に収集されたガチョウから単離したH5N1インフルエンザウイルス(Bh H5N1ウイルス)を分析した。遺伝子分析の結果、Bh H5N1ウイルスは再配列ウイルスで、PB2遺伝子の627位のアミノ酸残基(リジン)は、ヒトH5N1ウイルス(A/HK/483/97)と同じであり、GenBankにあるH5N1トリインフルエンザウイルスとは異なっていた。
13	2006/09/04	60396	阪大微生物病研究会	発疹チフスワクチン	卵黄囊	発育鶏卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	J Gen Virol 2006; 87: 1823-1833	60395に同じ
14	2006/09/04	60398	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ肉水	ウシ肉	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
15	2006/09/04	60399	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	カザミノアシド	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
16	2006/09/04	60400	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥痘そうワクチン 沈降精製百日せきワクチン コレラワクチン ジフテリアトキソイド ワイル病状やみ混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素	ポリペプトン	ウシの乳	ニュージーランド、中国	製造工程	無	無	無			
17	2006/09/04	60401	武田薬品工業	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ラクトアルブミン水解物	ウシの乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
18	2006/09/04	60402	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ心臓透析外液	ウシ心臓	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
19	2006/09/04	60403	武田薬品工業	インフルエンザHAワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
20	2006/09/04	60404	武田薬品工業	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ニワトリ胚細胞	ニワトリ胚	日本	製造工程	無	無	無			
21	2006/09/04	60405	武田薬品工業	乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ペプシン	ブタ胃	アメリカ合衆国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
22	2006/09/04	60406	武田薬品工業	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	トリプシン	ブタ脳臓	アメリカ合衆国、カナダ	製造工程	無	無	無			
23	2006/09/04	60407	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	バクトカジン	ウシの乳	ニュージーランド、アメリカ合衆国、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
24	2006/09/04	60408	武田薬品工業	①乾燥弱毒生麻しんワクチン ②乾燥弱毒生風しんワクチン ③乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン ④日本脳炎ワクチン ⑤乾燥日本脳炎ワクチン ⑥乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ウシ血清	ウシ血液	①～③アメリカ合衆国、ニュージーランド、オーストラリア ④、⑤ニュージーランド ⑥ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
25	2006/09/04	60409	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	スキムミルク	ウシの乳	アメリカ合衆国、日本	製造工程	無	無	無			
26	2006/09/04	60410	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ肝臓	ウシ肝臓	オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
27	2006/09/04	60411	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素	ウマ血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
28	2006/09/04	60412	武田薬品工業	痘そうワクチン 乾燥痘そうワクチン	ウシ皮膚	ウシ皮膚	日本	製造工程	無	無	無			
29	2006/09/04	60413	武田薬品工業	乾燥弱毒生風しんワクチン	筋アデニール酸	ウマ筋肉	アメリカ合衆国	製造工程	無	無	無			
30	2006/09/04	60414	武田薬品工業	ワイル病秋やみ混合ワクチン	ウサギ血清	ウサギ血液	日本	製造工程	無	無	無			
31	2006/09/04	60415	武田薬品工業	乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウマ免疫グロブリン	ウマ血清	日本	有効成分	無	無	無			
32	2006/09/04	60416	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド	ウシの肝臓	ウシの肝臓	日本、米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
33	2006/09/04	60417	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド	ビーフハートインフュージョン	ウシの心臓	インド、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
34	2006/09/07	60419	あすか製薬	日局カリジノゲナーゼ	カリジノゲナーゼ	ブタ臓臓	中国	有効成分	有	無	無	レンサ球菌感染	Emerg Infect Dis 2006; 12: 914-920	2005年7月中旬から8月末の間に中国四川省で215例のヒト連鎖球菌感染が報告され、うち66例は確定例であった。全ての感染例は、原因不明で死んだブタや病気のために食用になったブタを屠殺する過程で暴露した農業従事者で発生した。61例(28%)が連鎖球菌毒素ショック症候群を呈し、うち38例(62%)が死亡した。その他、敗血症(24%)と髄膜炎(48%)または両者であった。単離された全ての菌は tuf、種特異的16S rRNA、cps2J、mrp、ef、および slyI に対する遺伝子に陽性で、単一の株であった。
35	2006/09/07	60420	伊藤ライフサイエンス	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	有	無	無	レンサ球菌感染	ProMED20060412-0060 Boston.com 2006年4月11日 PLoS Med 3(5): e218 2006年4月11日	科学者らは、4月10日、ブタからヒトに伝播する危険な感染症が異例の致死経過をとって、2005年中国で38名の死者を出したと報告した。ブタ連鎖球菌(Streptococcus suis)で2005年7月と8月に死亡した者のうち1名を除いて全員が、連鎖球菌トキシックショック症候群により死亡した。この重症の免疫反応は、これまで一度もブタ連鎖球菌感染では認められていなかった。トキシックショック症候群と診断され、ブタとの接触があった患者は全てブタ連鎖球菌感染を調べた方がよい。
												炭疽	OIE Disease Information 19(19) 2006年5月11日、19(20) 2006年5月18日、19(28) 2006年7月13日	2006年4月10日、レソトで炭疽が発生した。5月17日までにウシ51頭、ヒツジ70頭、ウマ39頭が死亡した。死んだ動物の肉を食べた30人が感染し、うち5人が死亡した。
												炭疽	ProMED-mail20060730.2107 ProMED-mail20060802.2141 ProMED-mail20060806.2195 ProMED-mail20060808.2228 ProMED-mail20060811.2257	カナダ Saskatchewan で2006年7月初めに始まった炭疽のアウトブレイクで、隣のManitobaを含め、少なくとも746頭の家畜が死亡し、146農場が隔離されている。1950年代以降最大のアウトブレイクである。カナダの公衆衛生局は炭疽がヒトに感染する危険性は極めて低いと強調している。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
36	2006/09/07	60421	日本ビーシージー製造	精製ツベルクリン	乳糖	ウシ乳	オランダ、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルグ	添加物	有	無	無	異型クローンフェルト・ヤコブ病	J Gen Virol 2006; 87: 251-254	脳内接種により、げっ歯類に適合したBSEまたはvCJDに感染させたハムスターとマウスの骨格筋から、病原体プリオンが検出された。陽性の筋肉検体中のPrP ^{TSE} 濃度は、脳検体中濃度の500から1000倍低かった。骨格筋のTSE関与のリスクをさらに評価する必要がある。
												異型クローンフェルト・ヤコブ病	New Zealand J Agricult Res 2005; 48: 499-515	BSE、スクレイビーおよび慢性消耗病はニュージーランドには存在しないが、サーベイランスは、死後検体をイムノブロット法で検査することにより行われている。最近開発されたイムノブロット法(CDI)はTSEの株や亜型を区別でき、血液検体中での検出も可能かもしれない。増幅法(PCMA)は最小量を検出できる。
												異型クローンフェルト・ヤコブ病	Dev Biol (Basel) 2006; 123: 335-345	大部分のワクチンまたはワクチン製造工程でウシ組織由来物質が使われている。ワクチン製造に使われる最初の組織を、固有のTSEリスクに基づいて選択することがまず重要であり、安全な起源の第一評価として地理的因子を用いるより安全性が高い。組織が適切に集められ、加工され、詳細な記録が保管されることは必須である。
												人畜共通感染症	Dev Biol (Basel) 2006; 123: 273-280	ワクチン製造、ウイルス診断試験または原料試験に使われる細胞培養に添加する動物起源物質の使用は、ワクチンを汚染し、接種した動物で血清転換や疾患を引き起こし、検体の誤診断や間違った試験結果の原因となるおそれがある。血清や細胞培養をモニターするために獣医学センターで用いられている方法を紹介した。培地や添加物としてウシやブタなどの動物起源原料を使用する際には、ヒトへの交差の可能性も考慮し、検査、血清フリー培地、起源の確認、ウイルス不活性化、検査方法の改良が必要である。
												異型クローンフェルト・ヤコブ病	J Gen Virol 2006; 87: 1043-1046	BSEに感受性のあるPRNP遺伝子型ヒツジにBSE物質を経口摂取させると、宿主の体内にプリオンが広く分布した。ARRホモ接合体ヒツジはTSEに耐性があると考えられているため、ヒツジの群れからスクレイビーを根絶し、小反芻動物BSEリスクからヒト食物連鎖を守るために選択されてきた。しかし、ARR/ARRヒツジで同様の実験を行ったところ、経口摂取の数ヶ月後には健康なARR/ARRヒツジの脾臓に有意な量のPrP ^{Sc} が蓄積されることが明らかとなった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Biochem Biophys Res Commun 2006; 342: 293-299	PrP遺伝子のコドン129での多型とBSEまたはvCJDプリオンに対する感受性との関係を調べるため、ヒト化ノックインマウスにプリオン蛋白を腹腔内接種し、脾臓濾胞樹状細胞への蓄積を調べた。ヒト化ノックインマウスはBSEプリオンにはほとんど又は全く感受性を示さなかった。驚いたことに、コドン129Met/Metを持つヒト化ノックインマウスだけでなく、コドン129Met/Valを持つものもvCJDプリオンに感染した。コドン129Val/Valを持つヒト化ノックインマウスは感受性がなかった。
37	2006/09/07	60422	日本ビーシージー製造	精製ツベルクリン	全卵	ニワトリの卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2005; 11: 1515-1521	高病原性A型トリインフルエンザ(H5N1)のアウトブレイクはアジア9カ国の家禽に広がり、2004年1月から2005年4月までにベトナム等で52名以上が死亡した。トリとヒトから分離したH5N1の遺伝子解析を行ったところ、地理的分布が重ならない2つの異なったクレードを示した。全てのウイルス遺伝子はトリインフルエンザ起源であり、ヒトインフルエンザウイルスとの再配列はなかった。調べられたヒトH5N1単離体は全て単一のクレードに属し、アダマンチン薬には抵抗性があるが、ノイラミニダーゼ阻害薬には感受性があった。
												鳥インフルエンザ	Avian Diseases 2005; 49: 436-441	2004年12月に発生した山口県の養鶏場のニワトリの高病原性トリインフルエンザ感染について、疫学的、病理学的、免疫組織化学的研究を行った。処分前の致死率は34640羽のうち43.3%であった。死んだトリは臨床症状は示さなかった。組織学的には肝細胞、脾臓の夾組織および濾胞、ならびに脳幹、大脳、小脳のグリア小結節などで壊死が見られた。免疫組織化学的にはインフルエンザウイルス抗原は肝臓、脾臓、心臓などで見られたが、肺や気管では稀であった。ウイルスの呼吸器からの排泄は消化管からの排泄ほど優位ではないことが示された。
												鳥インフルエンザ	Nature 2006; 440: 741-742	トリインフルエンザH5N1ウイルス感染による飼いネコの死亡報告がアジアとヨーロッパで増加している。ネコはウイルスの疫学に考えられていた以上に大きな役割を果たしているかもしれない。ネコが感染し、高病原性ウイルスを家禽やヒトや他の種に広げる危険性を最小限にするために、国や関係機関は新たな注意を払う必要がある。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2006; 12: 1041-1043	タイで2005年11月28日にトリインフルエンザを発病し、12月7日に死亡した5歳の少年の血液検体を調べた。RT-PCRにより、血漿はH5N1インフルエンザウイルス陽性であった。ウイルスを分離し、遺伝子配列を決定したところ、A/Thailand/NK165/05 accession no. DQ372591-8であった。ヘムアグルチニンとノイラミニダーゼ遺伝子について系統遺伝学的分析を行ったところ、2004年初めにタイで発生した野鳥のインフルエンザウイルスの特徴と同じであった。
38	2006/09/07	60423	ファイザー	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタの腸	米国	有効成分	無	無	無			
39	2006/09/07	60424	あすか製薬	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国、ブラジル	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	N Eng J Med 2005; 353: 1374-1385	2005年5月10日から12日にハノイで開かれたヒトインフルエンザA/H5に対する症例管理と研究に関するWHO会議で一部発表されたものを含む、ヒトにおけるトリインフルエンザの特徴、予防、管理をまとめた総説である。発生率、伝播、臨床的特徴、病原論、症例検出および管理、予防の項目別に述べている。
40	2006/09/08	60425	味の素	バルナパリンナトリウム注射液	バルナパリンナトリウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
41	2006/09/08	60426	日本シェーリング	インターフェロンベータ-1b(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	アメリカ	添加物	有	無	無	鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2006; 12: 1041-1043	タイで2005年11月28日にトリインフルエンザを発病し、12月7日に死亡した5歳の少年の血液検体を調べた。RT-PCRにより、血漿はH5N1インフルエンザウイルス陽性であった。ウイルスを分離し、遺伝子配列を決定したところ、A/Thailand/NK165/05 accession no. DQ372591-8であった。ヘムアグルチニンとノイラミニダーゼ遺伝子について系統遺伝学的分析を行ったところ、2004年初めにタイで発生した野鳥のインフルエンザウイルスの特徴と同じであった。
42	2006/09/12	60427	日本シェーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
43	2006/09/13	60428	東和薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛配合剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	魚類の軟骨抽出物	アメリカ	添加物	有	無	無	異型クローンフェルト・ヤコブ病	Br Med J 2006; 332: 1186-1188	1996年から1999年に、手術時に20-29歳であった患者から得られた虫垂および扁桃12674検体のうち、病原体プリオンに陽性染色であった3例(虫垂)について、プリオン蛋白の遺伝子型分析を行った。3検体中2例で分析が可能であり、両者ともプリオン蛋白遺伝子(PRNP)コドン129のValがホモ接合体であった。今まで、vCJD患者は、Met/Valのヘテロである医原性の1例を除いて全て、PRNPのコドン129がMetのホモ接合体であり、Valホモ接合体がvCJDに対し感受性があることが初めて示された。
44	2006/9/15	60397	日本メジフィジックス	テクネチウム大凝集人血清アルブミン(99mTc)	テクネチウム大凝集人血清アルブミン(99mTc)	人血清アルブミン	日本	有効成分	無	無	無			
45	2006/09/19	60418	化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第IX因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第IX因子 乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国、フランス、アメリカ、カナダ	製造工程	無	無	無			
46	2006/09/19	60429	化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第IX因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第IX因子	血液凝固第IX因子	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	肝炎	J Infect Dis 2006; 193: 1089-1097	非特異的PCRを行った後、染色体由来配列を除去することにより、非A-E肝炎患者の血清から、外来DNA断片が得られた。これらの内の一つをNV-Fと名づけたが、部分的オープンリーディングフレームを含み、非A-E肝炎患者69例中17例(24.6%)に検出された。NV-F陽性患者65例中49例(75.4%)の血清中に抗NV-F抗体が検出された。また免疫蛍光分析により、抗原は患者の肝細胞に存在することが明らかとなった。NV-Fはヒト肝炎に関連する新規の1本鎖DNA断片である。
												ウイルス感染	第80回 日本感染症学会総会・学術講演会	日本におけるヒトボカウイルス(HBoV)検出状況を調査した。2002年10月～2003年9月、2005年1月～7月の2シーズンに、小児下気道感染症患者318例から採取した鼻咽頭スワブより抽出したDNAをPCRし、塩基配列を決定した。318例中18例(5.7%)でHBoVが検出され、検出された患者の年齢は7ヶ月から3歳で、検出月は1月から5月に集中していた。HBoVは様々な呼吸器感染症の原因ウイルスになっていると推定された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	カナダ Public Health Agency of Canada 2006年5月26日	カナダ公衆衛生局は最近4例のカナダ人旅行者でチクングンヤ感染が原因と思われる疾患を確認した。これらの患者はレユニオン島などへ旅行し、2月から3月の初めに発症した。ヨーロッパでも帰国者による輸入例が報告されている。インド洋南西諸島で2005年3月から2006年4月22日までの間に公式に報告されたチクングンヤ感染例は3877例であるが、実際には255000例に達すると思われる。インドでは2005年12月以来、チクングンヤウイルスのアウトブレイクが報告され、2006年4月20日現在、153324例に達する。
47	2006/09/19	60437	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	ハートエキス	クジラ心臓	捕鯨国:日本	製造工程	無	無	無			
48	2006/09/19	60438	化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶ毒	ハブ毒素	日本	原材料	無	無	無			
49	2006/09/19	60439	化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	まむし毒	マムシ毒素	日本	原材料	無	無	無			
50	2006/09/19	60440	化学及血清療法研究所	①乾燥日本脳炎ワクチン ②乾燥弱毒生麻しんワクチン ③乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン ④乾燥弱毒生風しんワクチン ⑤乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	乳糖	ウシ乳	ニュージーランド	①、③～⑤添加物、 ②製造工程	無	無	無			
51	2006/09/19	60441	化学及血清療法研究所	乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン	脳	マウス脳	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	Arch Virol 2006 Published online Feb 26, 2006	2004年初頭、日本で発生した高病原性トリインフルエンザで死亡したニワトリから単離されたA/chicken/Yamaguchi/7/04(H5N1)ウイルスを、ニワトリ、ウズラ、セキセイインコ、コガモ、マウス、ミニブタに経鼻で接種し、実験的に感染させることにより病原性を評価した。このウイルスは調べられた全てのトリで高病原性を示し、ニワトリは接種後4日以内に6例全てで死亡し、ウイルスは呼吸器、肝臓、腎臓、大腸、脳から検出されたが、血液からは検出されなかった。マウスは感染に感受性はあるが、致死率は低かった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
52	2006/09/19	60442	化学及血清療法研究所	ウイルス病治療血清	血清	ウサギ血液		製造工程	無	無	無			
53	2006/09/19	60443	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド ウイルス病治療血清 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
54	2006/09/19	60444	化学及血清療法研究所	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	発育鶏卵	ニワトリ発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
55	2006/09/19	60445	化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素 乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ガスエソ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥ボツリヌスウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	ペプシン	ブタ胃	米国	製造工程	無	無	無			
56	2006/09/19	60446	化学及血清療法研究所	ウイルス病治療血清	肝臓	モルモット肝臓		製造工程	無	無	無			
57	2006/09/19	60447	化学及血清療法研究所	ウイルス病治療血清	血液	モルモット血液		製造工程	無	無	無			
58	2006/09/19	60448	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
59	2006/09/19	60449	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド コレラワクチン 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 破傷風トキソイド	スキムミルク	ウシ乳	アメリカ	製造工程	無	無	無			
60	2006/09/19	60450	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ワイル病治療血清 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	ポリペプトン	ウシ乳	中国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
61	2006/09/19	60451	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ガスエソウマ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	肝臓	ウシ肝臓	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
62	2006/09/19	60452	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド コレラワクチン 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥ガスエソウマ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	肉	ウシ肉	オーストラリア	製造工程	無	無	無			